

取り扱い説明書 **DAYTONA**

R 66680①

*取り付ける前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使い下さい。

*この説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管して下さい。

BSAレプリカ アルミタンク	適応車種	パーツNO.
	SR400/500 専用	66680

この度は、デイトナ「BSAレプリカ アルミタンク」を、お買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。御使用前には、必ずこの取り扱い説明書をよくお読み下さい。また、取り付け前に必ず商品の内容をお確かめ下さい。なお、万一お気づきの点がございましたら、お買い求めの販売店にご相談下さい。

[表示用語の説明]

この取り扱い説明書では商品を安全に正しくお使い頂くために必要な表示を次のように区分・表示しています。いずれも重要な内容を記載していますので、内容を必ずお守り下さい。



警告 「身体や生命に危害を及ぼすと予想される事故の防止」のために必要な事項の表示



注意 「デイトナ商品や純正部品、車体の損傷を防止」するための事項の表示



要点 「正しい操作方法や取り付け方法、点検整備上のポイント」を示す事項の表示

<特徴>

- ・ BSAレプリカデザインのアルミ製ガソリタンクです。
- ・ ガソリタンクキャップは、いたずら防止のため、鍵付きエノットタイプを採用しました。
- ・ タンク容量：17リットル (リザーブ：約2.5リットル)

<商品内容>

NO	パーツ名	サイズ (mm)	数量	NO	パーツ名	サイズ (mm)	数量
1	アルミタンク本体		1	5	六角穴付ボルト	M6×15	2
2	ガソリタンクキャップ		1	6	六角穴付ボタンボルト	M5×6	2
3	ガソリホース	φ8×φ13×300L	1	7	ラバー	50×200×2t	1
4	負圧ホース	φ4×φ8×200L	1	8	調整ワッシャ		2



警告

- ・ ガソリタンクの脱着およびガソリンの抜き取り作業は、バッテリーの⊖ マイナス端子を必ず外してから行って下さい。外さずに作業を行いますと、万一、ガソリンが配線等に触れたときにショートして引火したり、また、火災の原因となるため大変危険です。
- ・ ガソリタンクの脱着およびガソリン抜き取り等の作業は、火気厳禁で行って下さい。また、ガソリンからは揮発したガスが常に発生していますので、十分な換気をしながら作業をして下さい。
- ・ 装着後は、走行前にガソリタンクを満タンにし、ガソリタンク等からガソリン漏れがないことを必ず確認して下さい。万一、漏れなどの異常がある場合には、御面倒でもガソリンを全てタンクから抜いて作業を中断し、当社まで御連絡下さい。漏れがあるままで走行したりエンジンを掛け続けたりすると、火災等の原因となり大変危険です。
- ・ 事故や転倒などで、ガソリタンクがへこんだり削れてしまった場合、ガソリン漏れなどの異常がなくても、その後の使用はしないで下さい。オートバイの振動などにより、損傷がすすみ、後になってガソリン漏れなどが発生して事故や火災の原因になる恐れがあります。
- ・ 取り付けの際には、必ず純正ラバーダンパーを使用して下さい。純正ラバーダンパーを使用せずに直接フレームへタンクを固定しますと、振動などによりタンクに亀裂が入り、ガソリンが漏れる恐れがあります。
- ・ 給油の際は、17リットル以上のガソリンを入れしないで下さい。17リットル以上のガソリンが入ると、給油口からガソリンが漏れてしまうことがあり、大変危険です。
- ・ 溶接部分に追加加工 (ヤスリ、ワグナー) 等を行いますと、ガソリン漏れの原因となります。追加加工は絶対にしないで下さい。追加加工を行った場合、当社の保証対象外となります。



注意

- ・ タンク表面の微細なキズ、打コン、ピンホール、溶接跡等はクレームの対象になりません。予め御了承下さい。
- ・ ガソリタンクの表面は、アルミ素地の光沢を生かすようクリアー塗装などの防サビ処理を施してありません。そのためメンテナンスをせずに放置しますと、サビが発生しタンク表面が変色してしまいます。従って、サビ等を防ぐために週1回程度はワックス掛けをして下さい。万一、サビが発生した場合は、細目のコンパウンドで磨いた後、ワックス掛けを行って下さい。
- ・ 装着前には必ず、ガソリタンク内部をガソリンで洗い、ごみやホコリ等を除去して下さい。そのまま装着しますと、ガソリンコックやキャブレター内部が目詰まりしてエンジン不調などの原因となります。

⚠ 注意

- ・この商品を装着しますと、ガソリントankの形状によって純正シートは装着できません。シート前側部分の厚さが8cm以下の薄型シートに交換して下さい。(※当社より販売されているSR用のシートは全て同時装着できます。)
- ・この商品を装着しますと、ハンドルのタイプによっては、ハンドルおよびスイッチハウジングとガソリントankが干渉する場合があります。その場合は、ハンドルストッパー(デイトナ商品NO. 13769/¥1,800)を装着し、干渉を防いで下さい。但し、ハンドルストッパーを装着しますとハンドルロックは使用できませんから盗難防止用のパロックなどを携帯する必要があります。
- ・補修用キーは、当社で販売しておりません。必要な場合はスペアキー専門店などでお求め下さい。

● 塗装に関する注意事項

※基本的に、塗装に関するクレームは受け付けておりません。予め御了承下さい。

・ 塗装を行うにあたって

塗装を行う場合に最も重要なことは、素材面を清浄して塗料の付着を良くすることです。素材面の油分、水分などの汚れは塗料の乾燥や付着を妨げる原因となります。また、金属のサビが残っていると、塗膜の膨れや剥がれ、またサビの広がりを招きます。このように素材面の清浄が不十分ですと、塗膜に欠陥が生じますので御注意下さい。

【例】塗膜層間に大小の膨れ(ブリスト)が生じてしまった。

(主な原因)

- 環境によるもの/温度・湿度が高い、水が常に掛かる
- 材料によるもの/層間の付着が不十分、耐水性のない下地、溶解力のないシンナー
- 塗装作業によるもの/脱脂不足(研ぎカス、手アカ、汗、指紋、剥離剤の付着)、水洗水の汚れ
- 設備や機器によるもの/エアホースの中に水や油が入っている

・ 塗装の種類について

ラッカー塗料を使用する場合は、塗装面にガソリンなどが付着しますと塗膜を傷める原因となりますから、ガソリンが付着してしまったときは速やかに拭き取って下さい。塗装面をガソリンなどで傷めない塗料としては、ウレタン焼付塗装をお勧めします。

■ 取り付け手順 ■

1. バッテリーの ⊖ マイナス端子を取り外します。
2. ガソリンコックを「RES」または「ON」の位置にし、ガソリンコックとキャブレター間のホース2本を外します。
3. 純正シートを取り外します。
4. 純正ガソリントank固定用ボルト(M8/1本)を外し、純正ガソリントankを取り外します。
5. ガソリンコックを「PR I」の位置にし、ガソリンを全て抜いて下さい。



警告

※火気のある場所でのガソリン抜き取り作業は絶対にしないで下さい。火災等の原因となり、大変危険です。

※ガソリンを抜く際は、ガソリンジョッキ等の器を用意し、付近にこぼしたりしないよう充分に注意して下さい。万一こぼれたりした場合は、速やかに乾いた布等で拭き取って下さい。また、抜いたガソリンを保存したり運搬する場合は、必ず消防法に適合したガソリン携行缶をお使い下さい。

※ガソリンを抜く作業の際は、必ず換気を充分に行ってください。

6. 純正ガソリントankから、ガソリンコックおよびタンク後側ステーにはめ込んであるラバーダンパーを取り外します。
7. ①アルミタンクに、手順6で外したガソリンコックを、⑤六角穴付ボルト(M6×15/2本)と純正プレートワッシャ(M6/2枚)、純正Oリングを使用して固定します。

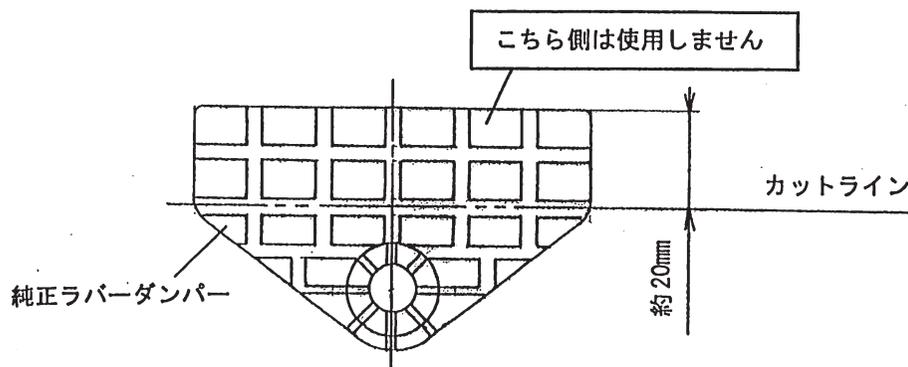
要点

※純正Oリングは、新品に交換することをお勧めします。

YAMAHA 純正Oリング/パーツNO. 1J7-24512-00 (~'92/8月)

2G2-24512-00 ('92/9月~)

8. 手順6で外したラバーダンパーを図の位置でカットし、
①アルミタンクの後側ステーにはめ込みます。

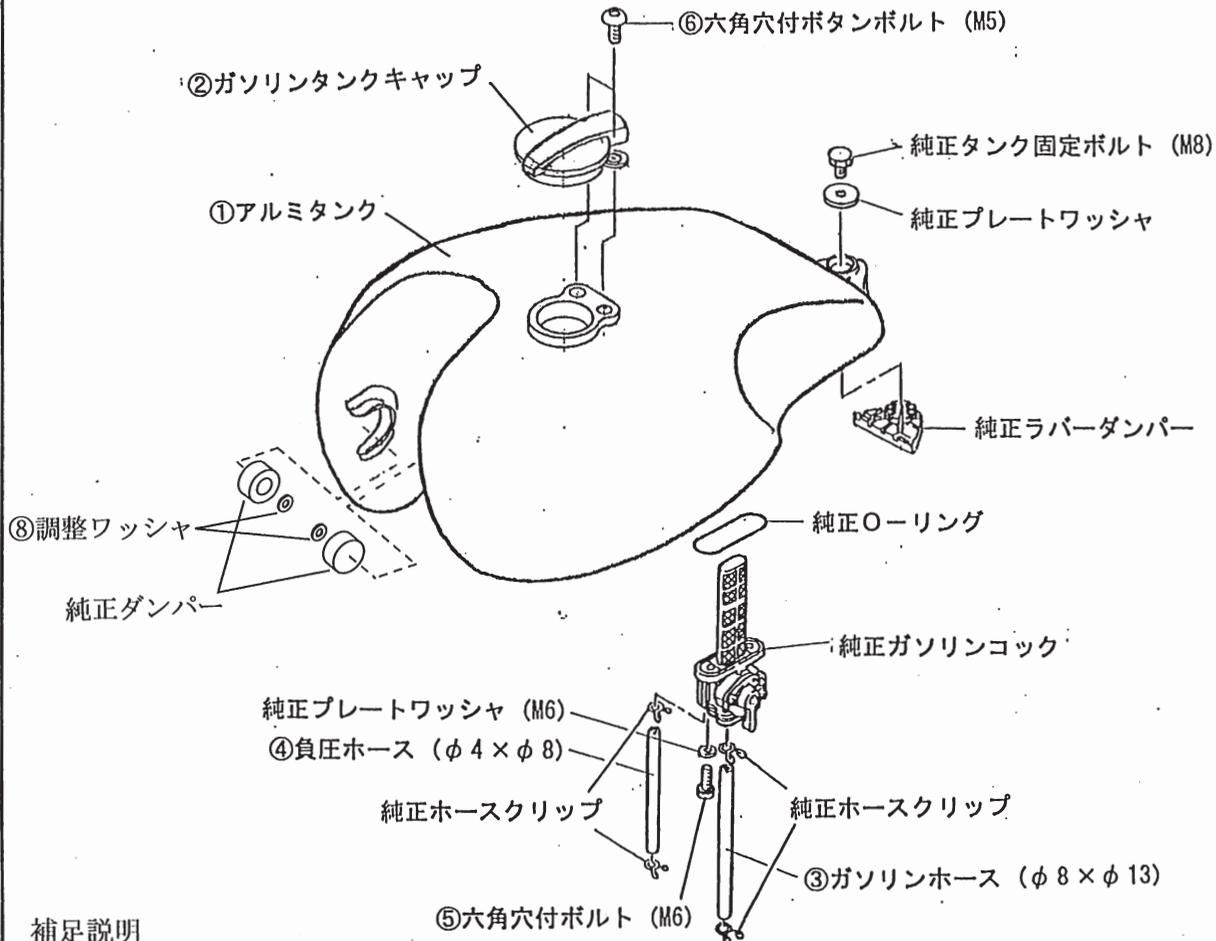


9. ①アルミタンクを車体側に取り付け、純正ガソリタンク固定用ボルト (M8 / 1本) で固定します。

要点

*ガソリタンク装着時、オイル注入口キャップが邪魔になってしまう場合は、オイル注入口キャップを取り外してからガソリタンクを取り付けて下さい。

10. ②ガソリタンクキャップを、⑥六角穴付ボタンボルト (M5×6/2本) を使って①アルミタンク側に取り付けます。
 11. 純正のガソリホースと負圧ホースを、③ガソリホース (φ8×φ13×300L) と、④負圧ホース (φ4×φ8×200L) に交換します。このとき、ホースは長めにしているため適当な長さにカットして取り付けて下さい。
 12. ①アルミタンクと車体側との間で、クリアランスが少ないところ (ガソリタンク底板とシリンダヘッドの間など) に、⑦ラバーをボンド等を使って取り付けます。
 13. ガソリンを注入して、各部からガソリン漏れのないことを必ず確認し、異常がなければ作業は完了です。



補足説明

車体個々のバラつきと製品のバラつきにより、タンク本体にガタがある場合は、純正ダンパーの内側に⑧調整ワッシャーを入れて下さい。ガタがない場合は使用しません。